

全国社会復帰施設(都道府県)

都道府県	施設名	郵便番号	所在地	電話番号
宮崎県	宮崎ダルク	880-0027	宮崎市西池町11-36	0985-38-5099
	フェニックスハウス	880-0027	宮崎市西池町11-36	0985-38-5099
鹿児島県	自興館	891-0304	指宿市東方7558	0993-23-2311
	ソーバーハウス 6号館	892-0873	鹿児島市下田町1919	099-220-5085
	ARC鹿児島	892-0845	鹿児島市樋之口町10-32-211	099-239-2815
	支援センター JOE		鹿児島市下伊敷2-4-20	099-229-7299
	鹿児島市立いしき園	890-0002	鹿児島市西伊敷4-12-2	099-220-8194
沖縄県	沖縄ダルク	901-2221	宜野湾市伊佐1-7-19	098-893-8406
	琉球MAC	901-0153	那覇市宇栄原3-21-1丸信アパート1F	098-858-5048
	セルフ・サポート研究所 ガイア	902-0078	那覇市識名1102-16	098-831-2174

注: イタリアリック体の都道府県は未更新

全国社会復帰施設(政令都市)

政令市	施設名	郵便番号	所在地	電話番号
札幌市	リカバリーハウスそれいゆ	003-0809	札幌市白石区菊水9条2丁目1-8	011-861-7739
	グループホーム青十字サマリヤ館	061-2284	札幌市南区藤野4条3丁目8-18	011-591-1921
	小規模通所授産施設ふじの共同作業所	061-2271	札幌市南区藤野549-8	011-591-5609
	札幌マック共同作業所	003-0002	札幌市白石区東札幌2条5丁目1-21	011-841-7055
	札幌マック女性共同作業所	003-0002	札幌市白石区東札幌2条4丁目8-25ハイム真木302	011-812-4903
	共同作業所サマリヤ・カンパニー	061-2285	札幌市南区藤野5条6丁目455-96	011-593-5112
	札幌マックハウス	003-0002	札幌市白石区東札幌2条5丁目1-21	011-841-7055
	地域生活支援センター 手稲	006-0816	札幌市手稲区前田6条13丁目8	011-686-0502
	地域生活支援センター みなみ	062-0922	札幌市豊平区中の島2条1丁目2-26ハウスオブリザ中の島II	011-825-1373
	あさかけ生活支援センター	065-0033	札幌市東区北3条東14丁目483	011-733-3808
	地域生活支援センター さっぽろ	060-0042	札幌市中央区大通西19丁目WEST19 5F	011-622-1118
仙台市	仙台ダルク チェルキオ作業所	980-0011	仙台市青葉区上杉2-1-26	022-261-5341
	仙台ダルク	980-0011	仙台市青葉区上杉2-1-26	022-261-5341
	アルコール・リハビリホーム	982-0841	仙台市太白区向山3-18-1	022-267-2676
	第2アルコール・リハビリホーム	982-0841	仙台市太白区向山3-18-1	022-267-2676
	アルコール作業所 Campus どんぐり	982-0841	仙台市太白区向山3-18-1	022-267-2676
	日本マック東北	984-0816	仙台市若林区河原町1-5-11	022-215-2661
	アロー萌木	981-0011	仙台市青葉区中江1-23-4	022-716-5575
さいたま市	さいたまマック	330-0025	さいたま市見沼区東新井710-33鎌倉ハイツ1F	048-685-7734
	埼玉ダルク	330-0061	さいたま市浦和区常盤6-4-12	048-823-3460
千葉市	※該当施設なし			
都立	新生したまち作業所	135-0023	江東区平野3-7-4	03-3641-7303
	マックデイケアセンター リブ作業所	116-0003	荒川区南千住6-59-16	03-3802-1033
	ダルク・ホーム	116-0014	荒川区東日暮里3-10-6	03-3807-9978
	オーク	171-0021	豊島区西池袋2-39-8ローズベイ池袋ビル2F	

全国社会復帰施設(政令都市)

政令市	施設名	郵便番号	所在地	電話番号
	ベルの会共同作業所	123-0845	足立区西新井本町2-15-7	03-3856-9420
	NPO法人 クララハイツ	123-0845	足立区西新井本町2-14-7	03-3857-3093
	山谷マック	110-0012	台東区竜泉3-39-8	03-3871-3505
	みのわマック	114-0023	北区滝野川7-31-7	03-5974-5091
中部	ステップ夢	146-0094	大田区東矢口3-31-8	03-3733-3490
	SUN共同作業所	152-0001	目黒区中央町1-8-25ハイム・ブラティ1F	03-3712-0653
	アルコール共同作業所 すとおりい	154-0015	世田谷区桜新町1-8-6	03-3704-7344
	ウィメンズナイトケアホーム ロイス		公開せず(問い合わせはサポートセンター オハナ)	03-3382-8316
多摩	リビングハウス マム	181-0005	三鷹市中原2-12-3	0422-41-8758
	共同作業所 仲間の家	189-0025	東村山市廻田町3-4-1	0423-92-4550
	飛翔クラブ	189-0013	東村山市栄町2-16-16	042-395-1427
	共同作業所 久留米の家	203-0003	東久留米市金山町2-4-30	0424-77-3556
	救世軍 自省館	204-0023	清瀬市竹丘1-17-60	0424-93-5374
	立川マック	190-0013	立川市富士見町1-7-17新藤マンション122号	042-521-4976
横浜市	横浜マック・デイケア・センター	241-0022	横浜市旭区鶴ヶ峰2-64-5田辺ビル3F	045-383-1664
	アルク・デイケア・センター	231-0025	横浜市中区松影町3-11-2三和ビル2F	045-641-7344
	第2アルク・デイケア・センター	231-0028	横浜市中区翁町1-6-4新翁ビル2F	045-641-2084
	横浜ダルク・デイケア・センター	232-0017	横浜市南区宿町2-44蒔田パークハイツ1F	045-731-8666
	本牧荘	231-0822	公表せず	
	横浜ダルクハウス	232-0045	公表せず	
	まゆの家	241-0803	公表せず	
	横浜市神奈川区生活支援センター	221-0825	横浜市神奈川区反町1-8-4	045-322-2907
	横浜市栄区生活支援センター	247-0007	横浜市栄区小菅ヶ谷3-32-12	045-896-0483
	横浜市港南区生活支援センター	233-0003	横浜市港南区港南4-2-7	045-842-6300
	横浜市保土ヶ谷区生活支援センター	240-0001	横浜市保土ヶ谷区川辺町5-11	045-333-6111

全国社会復帰施設(政令都市)

政令市	施設名	郵便番号	所在地	電話番号
	旭区地域生活支援拠点 ほっとぽっと	241-0022	横浜市旭区鶴ヶ峰2-1-16	045-953-6727
	かつら工房	247-0014	横浜市栄区公田町596	045-891-5190
	清明の郷	232-0033	横浜市南区中村町5-315	045-251-5099
	横浜市中央浩生館	232-0033	横浜市南区中村町3-211	045-251-5830
	更生施設 民衆館	232-0041	横浜市南区睦町1-27	045-731-2539
	更生施設 甲突寮	235-0011	横浜市磯子区丸山1-19-20	045-751-0796
川崎市	川崎マック アルコールケアセンター	210-0812	川崎市川崎区東門前2-2-10	044-266-6708
	断酒会 吉村作業所	212-0004	川崎市幸区小向西町3-5	044-556-5251
	アルコールケアセンター たんぽぽ	213-0001	川崎市高津区溝口2-7-9	044-822-0699
	川崎ダルク	213-0005	川崎市高津区北見方3-8-11名川荘203	044-812-3219
静岡市	静岡市あしたば寮	420-0001	静岡市井宮町214 望月 茂 方	054-271-8039
名古屋市	名古屋マック	462-0847	名古屋市北区金城1-1-57	052-912-5508
	TYMルーム	462-0046	名古屋市北区城見通1-1	052-917-8300
	仲間の会作業所	457-0047	名古屋市南城区下町1-12	052-821-0650
	名古屋ダルク・ダイケアセンター	462-0834	名古屋市北区長田町4-67	052-915-7284
	ピートハウス	462-0847	名古屋市北区金城1-1-57名古屋マック	052-912-5508
	レインボーハウス	454-0915	名古屋市中区横井2-24 東海MAC	052-412-6877
京都市	共同作業所 京都マック	603-8378	京都市北区衣笠御所の内町4	075-465-3634
	京都DARC・ネクサス	612-0088	京都市伏見区深草出羽屋敷町10-13	075-645-7105
大阪市	小規模通所授産施設 リカバリーハウスいちご	546-0022	大阪市東住吉区住道矢田3-4-3	06-6769-1517
	小規模通所授産施設 のぞみ作業所	557-0004	大阪市西成区萩之茶屋2-11-15	06-6647-6576
	小規模作業所 大阪マック	545-0021	大阪市阿倍野区阪南町1-4-5	06-6621-2996
	小規模作業所 大阪DARC作業所	532-0002	大阪市淀川区東三国3-1-6-104	06-6396-5404
	グループホーム ジョイ	557-0004	大阪市西成区萩之茶屋2-9-22 マンションアブリシエイト	06-6647-6576
	グループホーム いちご1号	545-0021	大阪市阿倍野区阪南町6-1-10-201	06-6769-1517

全国社会復帰施設(政令都市)

政令市	施設名	郵便番号	所在地	電話番号
	グループホーム いちご2号	545-0021	大阪市阿倍野区阪南町6-1-10-301	06-6769-1517
	グループホーム ミツキーハウス	545-0023	大阪市阿倍野区王子町1-1-27	06-6621-2996
	グループホーム アルバ	532-0023	大阪市淀川区十三東3-7-12	06-6396-5404
	グループホーム 女性ホーム大阪	533-0021	大阪市東淀川区下新庄6-13-3	06-6396-5404
神戸市	兵庫・本町作業所	652-0834	神戸市兵庫区本町一丁目3-24	078-672-6690
	ぼちぼちはうす	654-0034	神戸市須磨区戸政町2丁目2-25-1F	078-736-2966
	ホームくすのき	652-0805	神戸市兵庫区羽板通2丁目1-33	078-578-1889
広島市	ミットレーベン (援護寮)	739-0323	広島市安芸区中野東4丁目5-35	082-892-3072
	アングネーム (福祉ホーム)	739-0323	広島市安芸区中野東4丁目5-35	082-892-3533
	アイネライン(Gホーム)	739-0323	広島市安芸区中野東4丁目5-41	082-892-1055
	モルゲンユート (地域生活支援センター)	739-0323	広島市安芸区中野東4丁目4-5-35	082-892-3050
	ワークプラザひがし (通所授産)	732-0034	広島市東区温品町字垣内510-1	082-289-6088
	ふれあい (地域生活支援センター)	734-0001	広島市南区出汐3丁目2-20	082-250-7830
	広島マツク作業所	732-0817	広島市南区比治山町1-12	082-262-6689
	ミルキーハウス	734-0005	広島市南区翠3丁目12-36	082-254-4870
	トライ工房	731-0124	広島市安佐南区大町東1丁目12-11-3	082-870-4968
福岡市	美野島ハウス	812-0017	福岡市博多区美野島2-5-31	092-471-5140
	共同作業所 ビックママ	812-0017	福岡市博多区美野島2-5-31	092-471-7744
	福岡MAC共同作業所	816-0082	福岡市博多区表野5-22-17	092-574-1014
	福岡MAC女性共同作業所	816-0078	福岡市博多区竹丘町1-5-5	092-584-6622
	地域生活支援センター ピアひがし	811-0213	福岡市東区和白丘3-2-18	092-607-1158
	虹	819-0037	福岡市西区飯盛510	092-811-3630
	地域生活支援センター リプル	814-0101	福岡市城南区荒江1-19-18	092-982-8200
北九州市	カーサ松ヶ江	800-0112	北九州市門司区大字畑355	092-831-3001
	みどり荘	807-0846	北九州市八幡西区永丸東町3-4-11	093-481-1281
				093-691-3344

全国社会復帰施設(政令都市)

政令市	施設名	郵便番号	所在地	電話番号
	リカバリーハウス	802-0045	北九州市小倉北区片野1-1-48 リビオン片野601	093-923-9240
	ひまわり荘	803-0976	北九州市小倉南区南方2-15-1	093-961-3238
	まつぼっくり	800-0112	北九州市門司区大字畑355-2	093-481-1281
	第2ひまわり荘	803-0971	北九州市小倉南区守恒本町2-16-24	093-961-3238
	北九州ダルクデイケアセンター	802-0062	北九州市小倉北区片野4-13-30 片野タカケンビル1F	093-923-9240
	救護施設 愛の家	803-0853	北九州市小倉北区高尾2丁目5-20	093-561-0007
	救護施設 第2優和園	803-0181	北九州市小倉南区大字呼野131-3	093-452-3939

注: イタリック体の都道府県は未更新

厚生労働科学研究費補助金(障害保健福祉総合研究事業)
分担研究報告書

アルコール依存症の社会復帰施設の実態把握と支援モデル構築に関する研究

アルコール依存症の施設利用基準作成研究

分担研究者 国立保健医療科学院疫学部 谷畑健生
主任研究者 樋口進

研究要旨

本研究は、社会復帰施設を利用することが必要なアルコール依存症者を弁別するためのスクリーニング項目を設定することを目的とした。平成 16 年度に行った社会復帰施設利用状況調査をもとに、因子分析・判別分析などを行うことによってスクリーニング可能な最小数の調査項目を絞った

社会施設利用状況の 3 つのカテゴリ「入所」「通所」「利用せず」として、アルコール依存症者の社会復帰施設利用スクリーニングに使用する調査項目は「住居の有無」「生活保護の有無」「同居者の有無」「社会的手続き可能・不可能」で弁別できることが分かった。

A. 研究目的

本研究は、社会復帰施設を利用することが必要なアルコール依存症者を弁別するためのスクリーニング項目を設定することを目的とした。

B. 研究方法・結果・考察

平成 16 年度に「アルコール依存症の施設利用基準に関する調査」を協力医療機関で行った。この調査結果を基にスクリーニングに最適な調査項目を以下の統計方法で解析した。

1. 関連因子の選定 I

a) 「医学的合併症の有無」の質問のうち、一つでも合併症がある場合、「合併症あり」として調査項目を統合した。同様に「今までに以下のような問題を抱えたことがありますか?」「日常生活能力」の調査項目も統合して一つの調査項目とした。分析には回答者の属性をのぞき、これら 3 つの項目、すべての項目に対して分析を行った。調査票における調査項目および選択肢は別添資料に表記した。

b) 従属因子は調査票中の社会復帰施設の利用状

③ 第一因子行列・第二因子行列すべてを計算式に投入した場合(全因子投入モデル、

況のカテゴリ「入所」「通所」「利用せず」の 3 つとして解析を進める。

c) 説明因子数の決定(図 1)
スクリープロットにより最大 6 つの説明因子で全体の説明が可能であることが分かった。

d) 調査項目の共通因子を抽出するため因子分析によって因子行列(表 1)を求め、その後バリマックス回転(表 2)によって共通因子を抽出した。

① バリマックス回転によって、全因子の因子行列を明らかにした。この結果第一因子行列および第二因子行列によってほとんど説明が可能であることがわかる。

② 抽出された項目は第一因子、第二因子は以下の通りである。

第一因子	第二因子
同居者	社会的手続き
生活保護	金銭管理
配偶者との交流	服薬管理
住居がある	清潔保持
親兄弟との交流	日常生活能力

表 3)、クロンバッハの係数 0.798 をしめし、判別分析によって、「入所中」の判別率 75.9%、「通所中」67.0%、「利用せず」

76.4%、全体の判別率 73.6%を示した。この数値に基づいて、解析によって説明因子を最大 6 因子まで減少させることとした。モデルはバリマックス回転後に得られた因子得点から高いものから順にモデルを考案した。

- ④ モデル 1 (表 4)
第一因子行列から「同居者」「生活保護」「配偶者との交流」「住居」「親兄弟との交流」
第二因子行列から「社会的手続き」
- ⑤ モデル 2 (表 5)
第一因子行列から「同居者」「生活保護」「配偶者との交流」「住居」
第二因子行列から「社会的手続き」「金銭管理」

2. 説明因子の信頼性の分析

- a) モデル 1 クロンバッハの α 0.767
b) モデル 2 クロンバッハの α 0.729
どちらのモデルについても調査項目としての信頼性があることが分かった。

3. 説明因子がスクリーニングに耐えうるか

- a) 判別分析によって両モデルとも判別率（正しく分類できる割合）は 67%代であった。
b) 両モデルとも全因子投入モデルに比べて判別率が 1 割程度低下するだけであったことから、最大 6 因子で説明可能である。
c) モデル 2 は「入所」72.0%「通所」57.0%「利用せず」71.3%の判別率を示した。
d) これら二つのモデルを検討した。
① 正準空間で説明変数の方向を示すバイプロット線は「同居者」「生活保護」「住居」「社会的手続き」の 4 つの説明因子ではっきりとした方向が見える (図 2、3)。一方「親兄弟との交流」「金銭管理」は方向性は弱く、「社会的手続き」と重なっている。同様に「配偶者との交流」は方向性に欠けることが分かった。
② さらにモデル 1 モデル 2 を検討するために次の解析に進むこととした。

4. 従属因子を社会復帰施設利用（「入所」「通所」と「利用せず」の二つのカテゴリとして、6 つの説明因子に対して、説明因子の特性を明らかにした。ここで 6 つの説明因子をステップワイズ法に

よって絞り込んだ。

- a) モデル 1 およびモデル 2 のうち、「同居者」「生活保護」「住居」「社会的手続き」の 4 因子によって説明可能であることが分かった。
b) 判別分析によって住居の影響が強いことがわかった。

標準化された正準判別関数係数

住居	0.79
生活保護	-0.20
同居者	0.21
社会的手続き	0.22

- c) 判別分析による 4 因子の評価（社会施設利用状況の 3 つのカテゴリ「入所」「通所」「利用せず」についての分析、表 6）
① 4 つの因子「住居の有無」「生活保護の有無」「同居者の有無」「社会的手続き可能・不可能」の 4 つで説明可能であることが分かった。
② 全体の判別率は若干改善し、特に「通所中」の正答率が改善された。
③ 正準プロット (図 4) によって 4 つの因子が重なる方向性のないことが明らかになった。ただ、「生活保護の有無」「同居者の有無」は反対方向のベクトルをもっていることから、相補的關係にある可能性がある。
④ 従属変数である社会施設利用状況の 3 つのカテゴリ「入所」「通所」「利用せず」の關係については、「入所」と「通所」「利用せず」の距離は遠く、「入所」と「通所」を同一カテゴリーに統合するのは問題がある可能性がある。
⑤ 誤判別は「入所」「通所」「利用せず」のどれかに集約されているのではなく、全体に散らばっていることから、誤判別には一定の方向性があるのではない。
⑥ これらのことから、4 つの因子「住居の有無」「生活保護の有無」「同居者の有無」「社会的手続き可能・不可能」のみで良いことが分かった。
d) ロジステック回帰分析、ROC 曲線による 4 因子の評価
① 社会施設利用状況を「入所・通所」と「利用せず」にカテゴリを 2 分けて評価する。この分析の目的は便宜的に敏感度・特異

度を明らかにするためである。

- ② 判別分析によって判別率（正しく分類できる割合）は全体で 76.7%、「入所・通所」が 72.9%、「利用せず」80.8%であった（表 8）。
- ③ ロジステック回帰分析によって 4 つの因子が強い関連があることが分かった（表 9）。
- ④ ROC 曲線によって、感度 0.834、特異度 0.668 と計算された（図 5）。

C. 結論

従属変数である社会施設利用状況の 3 つのカテゴリ「入所」「通所」「利用せず」として、アルコール依存症者の社会復帰施設利用スクリーニングに使用する調査項目は住居の有無「生活保護の有無」「同居者の有無」「社会的手続き可能・不可能」で弁別できることが分かった。

D. 研究発表
なし

E. 知的財産権の出願・登録状況
なし

アルコール依存症の施設利用基準に関する調査

この調査は、社会復帰施設を利用することが必要なアルコール依存症者の特徴を明らかにして施設利用に関する基準を作成することを目的としたものです。貴施設を利用しているアルコール依存症者について、以下の質問票(表・裏の2ページ)にご回答下さい。なお、回答いただく際、「今までに」または「最近1年」などといった指定がない限り、現在の状況についてお答えください。

調査票は1患者に対して1調査票となっています。ご多忙のところ恐縮ですが、協力のほどよろしくお願い申し上げます。

1. 回答して下さる方の職種についてお答えください(一つに○)。

医師 ソーシャルワーカー 施設職員 看護師 福祉担当者 カウンセラー
 その他(具体的に _____)

以下は調査対象者に関する質問です。各項目の当てはまるもの一つに○をつけてください。

2. 性別	男性	女性
3. 年齢	(_____) 歳	
4. 現在の社会復帰施設の利用状況	入所している	通所している 利用してない
5. 住居の有無(持ち家、借家を問わず)	ある	ない
6. 収入の有無(生活保護以外)	ある	ない
7. 生活保護を受給	している	していない
8. 職業の有無(主婦、パートも含めて)	ある	ない
9. 失職の期間が1年以上続いている	はい	いいえ
10. 飲酒が原因で3回以上入退院を繰り返したことが	ある	ない
11. 今までに、親または兄弟にアルコール問題が	あった	なかった
12. 今までに、親または兄弟にアルコール以外の問題 (ギャンブル、暴力、薬物など)が	あった	なかった
13. 結婚をしたことが	ある	ない
14. 離婚、死別、別居の経験は	ある	ない
15. 子供は(実子、養子に関係なく)	いる	いない
16. 同居者は	いる	いない
17. 最近1年以上、親または兄弟との交流がない	はい	いいえ
18. 最近1年以上、配偶者または子供との交流がない	はい	いいえ
19. 家族と本人の関係を調整する必要がある	ある	ない
20. 他者(友人、自助グループなど)からのサポートが	ある	ない
21. 最近1年の間に、近隣住人とのトラブルが	あった	なかった

(裏面につづく)

22. 今までに以下のような問題を抱えたことがありますか		
1) 経済問題(無収入、借金など)	はい	いいえ
2) 他人への暴力または傷害事件	はい	いいえ
3) 飲酒運転	はい	いいえ
4) 家庭内暴力	はい	いいえ
5) 他の薬物使用(覚せい剤、シンナーなど)	はい	いいえ

6) ギャンブル問題	はい	いいえ
23. 医学的合併症の有無について		
1) 肝硬変の合併(または黄疸、腹水、肝性脳症のいずれかの既往)	ある	ない
2) インスリン自己注射を	している	していない
3) 躁うつ病の合併	ある	ない
4) 統合失調症の合併	ある	ない
5) 精神発達遅滞の合併	ある	ない
6) 摂食障害の合併	ある	ない
7) 認知症の合併	ある	ない
8) 衝動性が高い	はい	いいえ
9) 不安の訴えが多い	はい	いいえ
24. 今までに3ヶ月以上断酒したことが	ある	ない
25. 断酒への意欲が	ある	ない
26. 集団への適応は	良い	悪い
27. 規則の遵守は	できる	できない
28. 最近3ヶ月の間に、自助グループへ参加	した	していない
29. 金銭管理は自分で	できる	できない
30. 服薬管理は自分で	できる	できない
31. 社会的手続きや公共施設の利用は自分で	できる	できない
32. 身の清潔保持は自分で	できる	できない
33. 日常生活能力	① 社会生活は普通にできる ② 社会生活は困難だが日常生活は普通にできる ③ 日常生活に時に制限があるが、援助は不要 ④ 日常生活に時に援助が必要 ⑤ 日常生活に常に援助が必要	

質問は以上です。ご回答ありがとうございました。

因子のスクリーフ・ロット

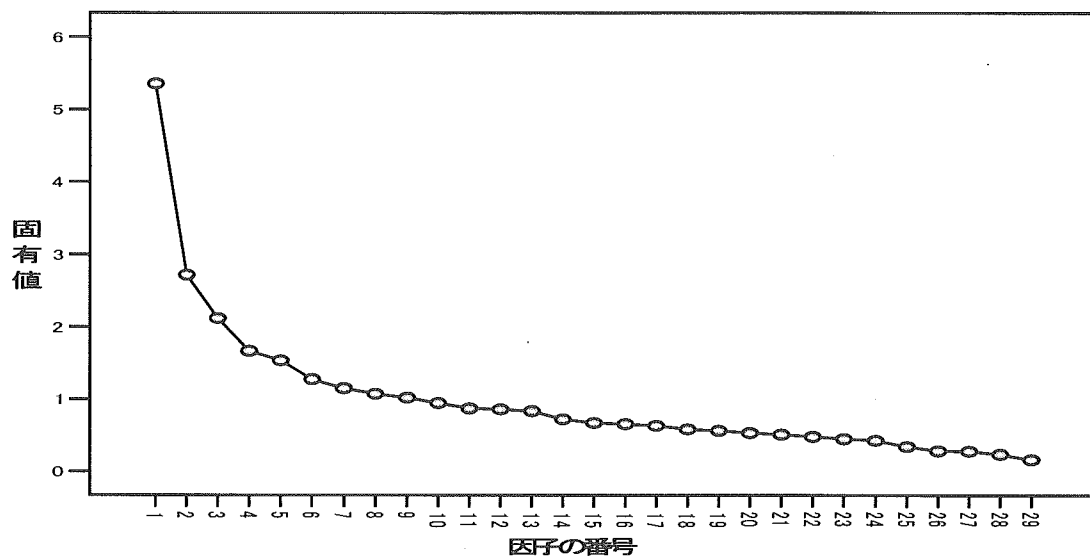


図 1 説明因子数の選定 (因子分析)

表 1 全因子の因子行列

	因子行列 ¹								
	因子								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
生活保護	-.651	.460	-.024	-.084	-.038	.075	.064	-.057	-.063
同居者	.621	-.367	.111	.025	-.006	-.279	-.140	-.057	-.008
収入	.606	-.277	-.017	.107	.151	.100	.052	.014	.097
日常生活能力	.590	.283	-.139	.097	-.041	-.016	-.133	.088	-.047
職業	.584	-.268	-.206	.353	.146	.455	-.008	-.001	-.057
失業	-.576	.246	.153	-.257	-.066	-.326	.001	-.029	.038
配偶者との交流	-.540	.120	-.245	.051	-.072	.229	.041	.061	.050
住居	.521	-.060	.010	.007	-.028	-.315	.187	-.149	.059
金銭管理	.518	.456	-.252	.010	-.240	.048	.112	-.159	.043
社会的手続き	.516	.470	-.169	.083	-.251	-.011	.037	-.051	-.107
親兄弟との交流	-.449	.197	-.049	-.007	-.109	.286	.030	.040	.051
集団適応	.397	.270	-.131	-.284	.284	-.027	-.065	.217	.209
規則遵守	.359	.257	-.132	-.237	.184	-.032	-.013	.353	.088
入院	-.224	.136	.169	.220	.099	-.039	-.059	.014	.043
服薬管理	.400	.433	-.146	.180	-.277	-.078	.007	-.036	.160
清潔保持	.364	.422	-.148	.123	-.153	-.085	-.177	.078	-.123
自助グループ	-.202	.390	-.010	.162	.366	-.054	-.278	-.127	-.009
結婚	.526	.165	.770	-.102	.003	.192	-.009	-.071	.018
子供	.499	.126	.629	-.125	-.033	.067	-.022	.003	-.012
離婚など	-.084	.431	.514	.014	.003	.235	.115	.023	.023
親兄弟のその他の問題	-.168	.133	.185	.470	.080	-.180	.217	.193	.031
親兄弟のアルコール問題	-.087	.057	.096	.427	.111	-.177	.273	.073	.087
近隣とのトラブル	-.208	.073	.155	.253	-.038	-.067	-.156	.058	-.094
関係調整	-.210	.022	.198	.223	-.010	-.066	-.108	.161	-.087
他者のサポート	-.122	.313	-.064	.169	.440	-.012	-.130	-.297	.152
断酒意欲	.237	.297	-.138	-.152	.339	-.017	.148	.052	-.259
断酒3ヶ月	.163	.105	-.091	-.140	.327	-.030	.281	-.109	-.187
重篤な病気がある	-.009	-.029	-.066	-.013	.006	.046	.043	-.007	.193
問題行動	-.011	.026	-.064	-.088	-.005	.094	.081	-.069	.155

因子抽出法: 主因子法

1. 9 個の因子の抽出が試みられました。25 回以上の反復が必要です。(収束基準 = .001)。抽出が終了しました。

表2 共通因子の説明のため全因子の因子行列を求め、バリマックス回転を行った。

回転後の因子行列¹

	因子								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
同居者	.737	.070	.216	.047	-.112	-.107	.034	-.070	-.088
生活保護	-.640	-.011	-.441	-.015	.188	.067	-.102	.076	-.018
配偶者との交流	-.579	-.096	-.085	-.239	.040	.054	-.076	-.079	.093
住居	.556	.258	.022	.039	-.106	.061	-.017	.165	.126
親兄弟との交流	-.554	-.056	-.103	.000	.029	.017	-.072	-.091	.080
社会的手続き	.075	.743	.086	.098	-.042	-.043	.060	.137	-.030
金銭管理	.065	.739	.090	.071	-.023	-.097	.032	.165	.193
服薬管理	.085	.683	.020	.052	.024	.093	.065	-.076	.123
清潔保持	.047	.594	.044	.013	.074	-.027	.169	-.004	-.197
日常生活能力	.219	.547	.238	.069	.040	-.061	.251	.049	-.088
職業	.172	.144	.868	-.010	-.023	-.038	-.004	.066	.047
失業	-.231	-.161	-.707	-.010	.093	.050	-.028	-.038	-.040
収入	.444	.061	.500	.081	-.081	-.015	.117	.066	.134
結婚	.290	.108	.114	.913	-.014	-.046	.047	.007	-.047
子供	.319	.125	.053	.732	-.076	-.052	.100	.002	-.087
離婚など	-.290	.066	-.122	.617	.093	.182	.006	.032	-.021
他者のサポート	-.073	.027	-.021	-.017	.649	.100	-.001	.128	.114
自助グループ	-.167	.049	-.102	-.008	.610	.081	.084	.046	-.144
親兄弟のその他の問題	-.059	-.004	-.041	.029	.057	.632	-.025	-.033	-.125
親兄弟のアルコール問題	.034	-.001	.009	-.027	.063	.566	-.075	.034	.010
入院	-.125	-.070	-.083	.078	.220	.245	-.039	-.102	-.096
集団適応	.146	.200	.037	.080	.119	-.131	.588	.166	.178
規則遵守	.077	.217	.039	.049	-.033	-.063	.588	.160	.052
断酒3ヶ月	.082	.012	.032	.013	.064	-.006	.063	.530	.044
断酒意欲	.006	.167	.042	.028	.106	-.040	.264	.520	-.098
関係調整	-.100	-.103	-.057	.050	.050	.226	-.018	-.174	-.269
近隣とのトラブル	-.107	-.026	-.065	.026	.125	.187	-.090	-.184	-.265
問題行動	-.061	.008	-.003	.009	.002	-.050	.002	.020	.224
重篤な疾患	-.014	-.019	.025	-.038	.006	.016	.035	-.056	.199

因子抽出法: 主因子法
 回転法: Kaiser の正規化を伴うバリマックス法
 1. 7 回の反復で回転が収束しました。

表 3 全部の因子を投入しての分類

分類結果¹

riyo		予測グループ番号			合計
		入所中	通所中	利用せず	
元のデータ 度数	入所中	129	33	8	170
	通所中	25	152	50	227
	利用せず	12	83	308	403
	グループ化していないケース	11	9	7	27
%	入所中	75.9	19.4	4.7	100.0
	通所中	11.0	67.0	22.0	100.0
	利用せず	3.0	20.6	76.4	100.0
	グループ化していないケース	40.7	33.3	25.9	100.0

1. 元のグループ化されたケースのうち 73.6% 個が正しく分類されました。

表 4 モデル 1 についての分類

分類結果¹

riyo		予測グループ番号			合計
		入所中	通所中	利用せず	
元のデータ 度数	入所中	143	34	22	199
	通所中	34	150	71	255
	利用せず	14	108	303	425
	グループ化していないケース	14	14	11	39
%	入所中	71.9	17.1	11.1	100.0
	通所中	13.3	58.8	27.8	100.0
	利用せず	3.3	25.4	71.3	100.0
	グループ化していないケース	35.9	35.9	28.2	100.0

1. 元のグループ化されたケースのうち 67.8% 個が正しく分類されました。

表 5 モデル 2 についての分類

分類結果¹

元のデータ		riyo	予測グループ番号			合計
			入所中	通所中	利用せず	
度数	入所中		144	35	21	200
	通所中		34	146	76	256
	利用せず		14	108	303	425
	グループ化していないケース		14	16	9	39
%	入所中		72.0	17.5	10.5	100.0
	通所中		13.3	57.0	29.7	100.0
	利用せず		3.3	25.4	71.3	100.0
	グループ化していないケース		35.9	41.0	23.1	100.0

1. 元のグループ化されたケースのうち 67.3% 個が正しく分類されました。

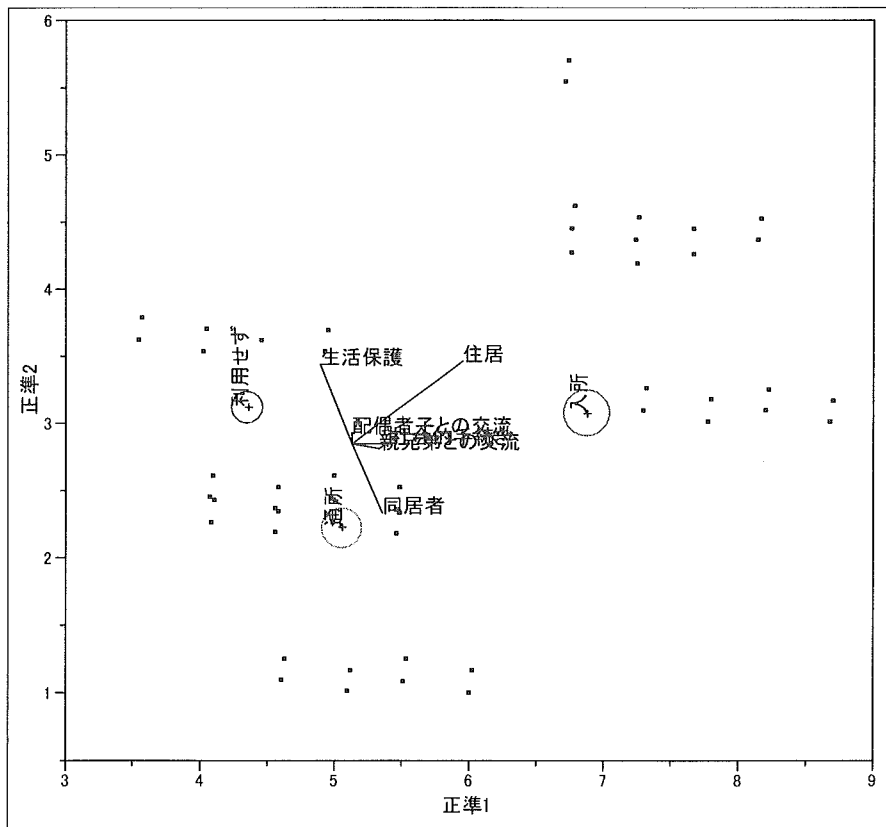


図 2 モデル 1 に対する正準プロット

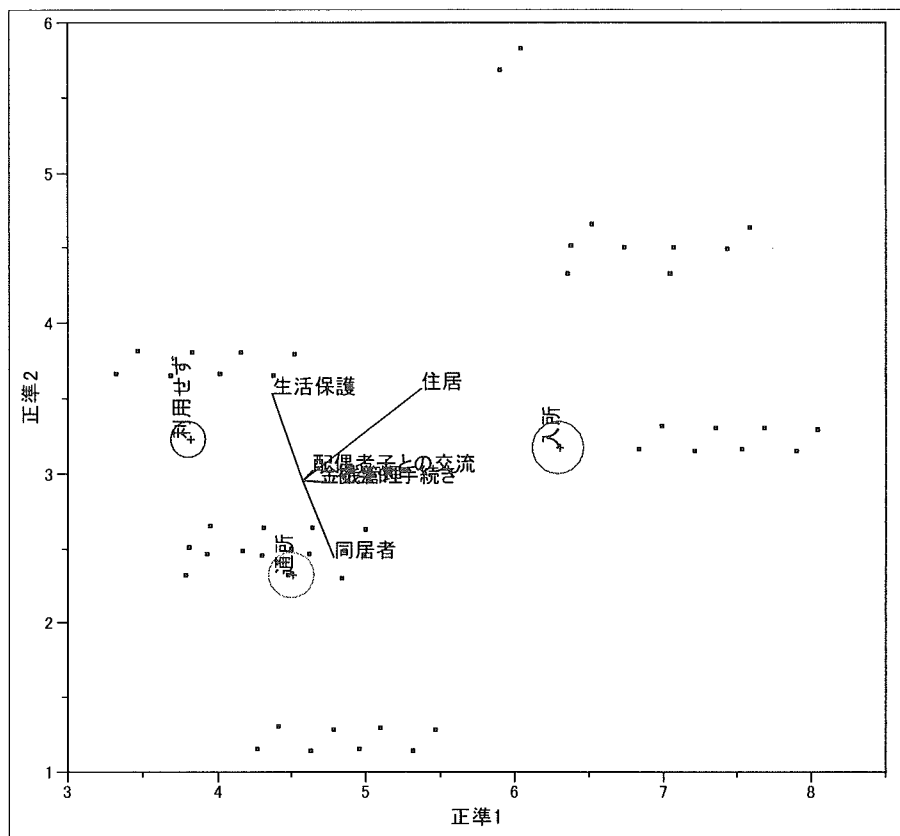


図3 モデル2に対して正準プロット

表6 社会復帰施設利用状況を4つの因子を判別分析によって分類

分類結果¹

		予測グループ番号			合計
		入所中	通所中	利用せず	
元のデータ	度数				
	入所中	149	33	25	207
	通所中	41	141	87	269
	利用せず	17	81	339	437
	グループ化していないケース	16	13	13	42
%	入所中	72.0	15.9	12.1	100.0
	通所中	15.2	52.4	32.3	100.0
	利用せず	3.9	18.5	77.6	100.0
	グループ化していないケース	38.1	31.0	31.0	100.0

1. 元のグループ化されたケースのうち68.9%個が正しく分類されました。

表7 モデル2の6因子についてロジステック回帰分析(変数増加法)
方程式中の変数

		B	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	Exp (B)	Exp(B)の95.0% 信頼区間	
								下限	上限
ステップ 1(1)	生活保護を受けている	2.144	.158	184.779	1	.000	8.533	6.264	11.624
	定数	-1.303	.123	112.051	1	.000	.272		
ステップ 2(2)	家がない	2.333	.300	60.608	1	.000	10.313	5.731	18.558
	生活保護を受けている	1.721	.167	105.642	1	.000	5.593	4.028	7.766
	定数	-3.045	.295	106.709	1	.000	.048		
ステップ 3(3)	家がない	2.053	.303	45.968	1	.000	7.792	4.304	14.106
	同居者がいない	.990	.200	24.467	1	.000	2.692	1.818	3.985
	生活保護を受けている	1.147	.203	31.836	1	.000	3.148	2.114	4.688
	定数	-2.935	.289	103.245	1	.000	.053		
ステップ 4(4)	家がない	1.918	.306	39.256	1	.000	6.809	3.736	12.407
	同居者がいない	.994	.203	23.896	1	.000	2.703	1.814	4.028
	社会的手続きが出来ない	1.221	.286	18.292	1	.000	3.392	1.938	5.936
	生活保護を受けている	1.180	.207	32.593	1	.000	3.254	2.170	4.880
	定数	-3.929	.388	102.410	1	.000	.020		

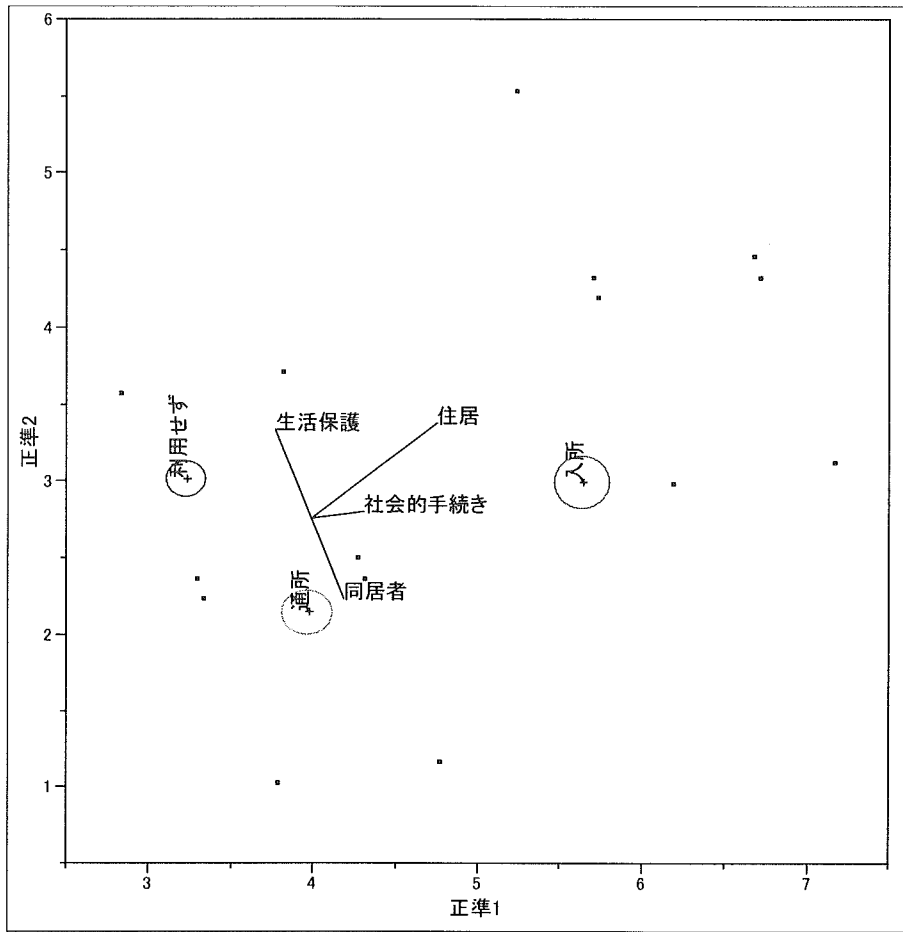


図4 4つの因子を正準プロットによる分析

表8 社会復帰施設利用状況を「入所・通所」と「利用せず」に統合し、判別分析によって判別率を求めた。
分類結果(1)

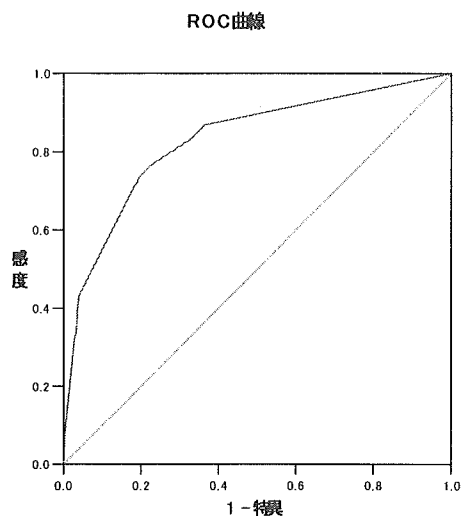
		riyo_ex	予測グループ番号		合計
			する	しない	
元のデータ	度数	する	347	129	476
		しない	84	353	437
		グループ化し ていないケ ース	24	18	42
	%	する	72.9	27.1	100.0
		しない	19.2	80.8	100.0
		グループ化し ていないケ ース	57.1	42.9	100.0

1.00 元のグループ化されたケースのうち 76.7% 個が正しく分類されました。

表9 4因子についてロジスティック回帰分析

	B	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	Exp (B)	Exp(B)の95.0% 信頼区間	
							下限	上限
家がない	1.803	.283	40.667	1	.000	6.071	3.487	10.567
生保を受けている	1.196	.202	34.908	1	.000	3.307	2.224	4.917
自分で手続きが出来ない	1.257	.283	19.722	1	.000	3.514	2.018	6.119
同居者が居ない	.976	.201	23.481	1	.000	2.653	1.788	3.936
定数	-1.394	.126	122.751	1	.000	.248		

図5 4因子に対して予測確率についてのROC曲線



曲線の下面積

検定結果変数: 分析 1 に対する関数 1 からの判別得点

面積	標準誤差(1)	漸近有意確率 (2)	漸近 95% 信頼区間	
			下限	上限
.829	.014	.000	.803	.856

感度	1 - 特異	特異度
1	1	0
0.868	0.364	0.636
0.834	0.332	0.668
0.765	0.224	0.776
0.735	0.195	0.805
0.729	0.192	0.808
0.714	0.185	0.815
0.71	0.181	0.819
0.431	0.039	0.961
0.391	0.034	0.966
0.376	0.034	0.966
0.338	0.032	0.968
0.321	0.027	0.973
0.317	0.027	0.973
0.09	0.005	0.995
0	0	1